

Design  
your  
passion

株主のみなさまへ  
**第87期 報告書**

2011.4.1-2012.3.31

(平成23年4月1日-平成24年3月31日)

株主のみなさまへ…………… 01

財務ハイライト…………… 03

トピックス

進化し続けるトヨタ紡織の環境技術と、  
感動の移動空間を創る技術力…………… 05

世界中のお客様に  
最高のモビリティライフを提案し、  
信頼の輪を拡げています…………… 07





取締役社長  
豊田周平

## 株主のみなさまへ

**平**素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに「第87期 報告書」をお届けし、当社グループの経営方針を改めてご説明いたしますとともに、当期（2011年4月1日～2012年3月31日）の業績概況、事業概況をご報告いたします。

### 新たな生産拠点の設立や強化を図り、世界各地でのお客様ニーズに応えています

**自**動車業界におきましては、当期は東日本大震災による生産台数の著しい減少から回復に向かいましたが、タイの大洪水災害の影響などにより国内生産および輸出は前年を下回る状況となりました。日本国内ではエコカー補助金の復活など明るい材料もありますが、円高の継続やガソリン価格の高騰など依然として厳しい状況が続いております。このような情勢の中で、当社の事業展開といったしましては、新たな生産拠点の設立や強化を図るなど世界各地でのお客様ニーズに応えるとともに、最適な生産・物流体制を構築し、地域一体となった効率的な運営に取り組んでまいりました。欧州の自動車部品メーカー ポリテック社の内装事業を取得、昨年7月に紡織オートモーティブヨーロッパとして営業を開始し、ビー・エム・ダブリュー、ダイムラー、フォルクスワーゲンなど欧州大手自動車メーカーとの取引を開始いたしました。また、新型ヤリスのシート受注に伴い、ポーランドのTBAI ポーランド、フランスのトヨタ

紡織ソマンでそれぞれ昨年6月、7月に生産を開始いたしました。さらに欧州の最新トレンドが行き交い、多くの素材メーカーが創り出す最先端の材料が豊富なデザイン発信地であるイタリア ミラノ市に欧州における初のデザイン開発拠点として、カーインテリアのデザインスタジオを新設し、昨年9月より活動を開始いたしました。

### 円高の影響や製品価格変動の影響などにより前年同期に比べ、減収減益となりました

**2**011年度の業績につきましては、前年同期に比べ減収減益という結果となりました。

当期の連結の売上高は9,642億円（前年同期比194億円減）、営業利益209億円（同159億円減）、経常利益232億円（同128億円減）、当期純利益32億円（同82億円減）という業績となりました。

また配当金につきましては、株主のみなさまへの安定的な配当の継続を重視し、1株当たり期末配当金を9円、中間配当金とあわせて年間配当金を1株当たり16円とさせていただきます。

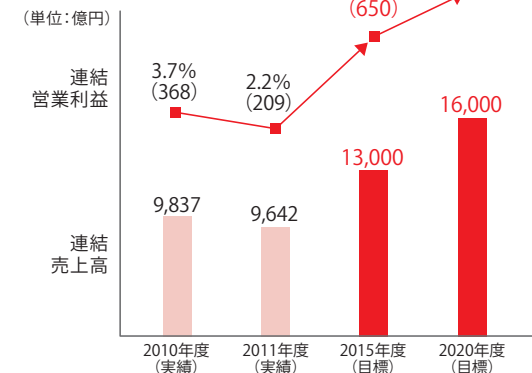
### 2020Vision、2015中期経営計画を策定しました

**次**期業績予想に関しましては、売上高1兆100億円、営業利益300億円、経常利益300億円、当期純利益130億円を見込んでおります。日本経済は復興需要の顕在化などにより緩やかな回復が続き、エコカー補助金

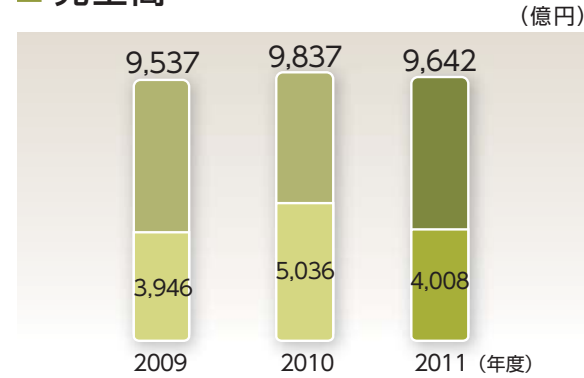
の復活などにより個人消費も改善傾向にあると思われませんが、欧州の景気低迷や長期化する円高に加えて足元の原油価格の高騰など依然として予断を許さない状況が続くものと思われれます。

このような厳しい経営環境の中で、さらなる飛躍をほかり、もう一段上のステージを目指していくために、「2020Vision」を策定いたしました。「2020Vision」では、2020年度にありたい姿として「世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社」、「すべてのステークホルダーから信頼され、共に成長する会社」を掲げました。また、ビジョン達成に向けた2015年度までの中期経営計画を策定し、2011年度から2015年度までを「飛躍のための構造改革期」と位置づけ、今後の成長市場である新興国における激化や海外生産シフトへの対応、新規顧客の獲得など、グローバルに勝ち残るための新たな体制を構築してまいります。株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

#### ■ 経営目標



売上高



販売台数はやや増加しましたが、円高の影響、製品構成の影響などにより減収となりました。

経常利益



営業利益と同様に、製品価格の変動影響などにより減益となりました。

営業利益



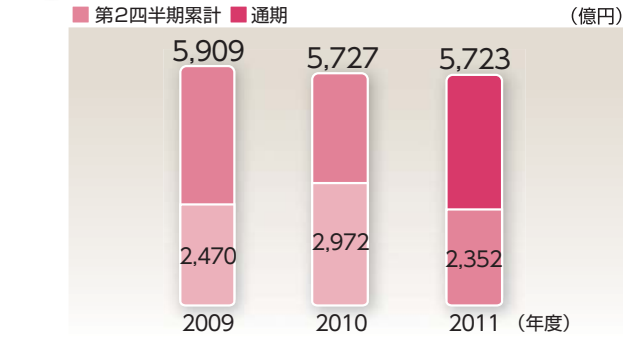
合理化などの増益要因はありましたが、製品価格変動の影響、労務費・諸経費の増加などにより減益となりました。

当期純利益



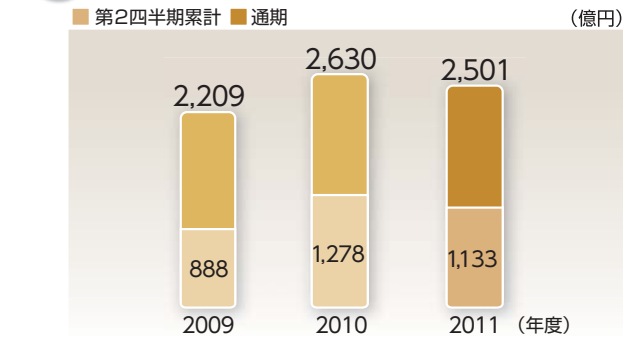
震災の影響による特別損失計上や、経常利益の減少などにより減益となりました。

日本の売上高の推移



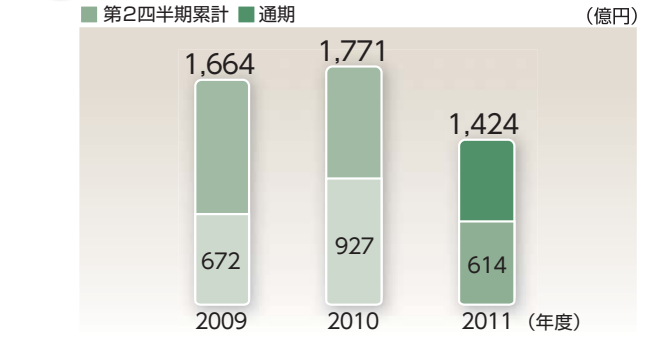
トヨタ プリウスα、アクアなどの新車立上げによる増産効果はありましたが、製品構成の影響などにより、前年同期に比べ3億円減少の5,723億円となりました。

アジア・オセアニアの売上高の推移



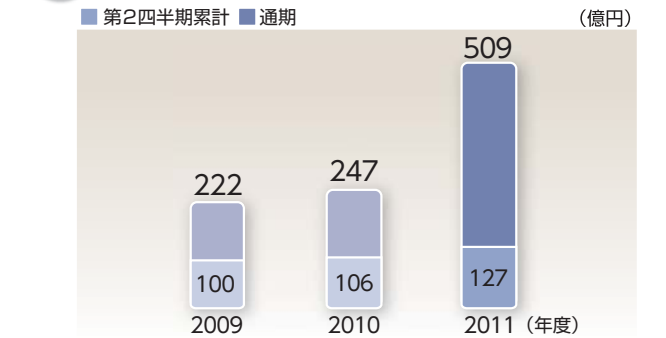
中国でのトヨタ カローラバースの新車立上げなどによる増産効果はありましたが、円高の影響などにより、前年同期に比べ129億円減少の2,501億円となりました。

北中南米の売上高の推移



トヨタ カムリなどの減産および円高の影響などにより、前年同期に比べ、347億円減少の1,424億円となりました。

欧州・アフリカの売上高の推移



フランスのトヨタ ヤリスの増産効果や、ポリテック社の内装事業部門を取得し、紡織オートモーティブヨーロッパを設立したことなどにより、前年同期に比べ262億円増加の509億円となりました。

# 進化し続けるトヨタ紡織の環境技術と、感動の移動空間を創る技術力

地球にやさしい植物由来材料の積極的な活用を推進し、新しい製品が相次いで世に送り出されました。

## トピックス 01 環境技術 植物材料ケナフを活用した 新たな自動車内装部品を開発

従来のケナフ技術を応用し、より軽量化したドアトリムおよびシートバックボード基材を開発、トヨタ自動車(株)から発売された新型レクサスGSに採用



レクサスGSに採用されたドアトリム基材

されました。原料のPP※1とケナフ繊維との親和性を高める添加剤を配合し、PPとケナフの接合強度を高めることで、従来品比20%の軽量化を実現しました。またこの基材成形工程においては、プレス成形と樹脂製構造物の射出成形を同時に行う樹脂部品同時成形工法を開発し、生産効率の向上と裏面構造物の小型化、軽量化を図っています。

※1 ポリプロピレン

### 循環型社会の実現を目指し、植物由来材料を積極的に活用

トヨタ紡織は、大気中のCO<sub>2</sub>を増減させない循環型社会の実現を目指し、植物由来材料の活用を積極的に進めています。例えば、成長が早くCO<sub>2</sub>固定能力が高い一年草ケナフに着目し、自動車部品に採用する研究を続けてきました。現在ではドアトリムだけでなく、多くの自動車部品に採用されています。また、ケナフのほか「ポリ乳酸」や「ひまし油」などの植物由来材料を活用した内装部品の製品化も実現しています。



インドネシアのケナフ栽培地

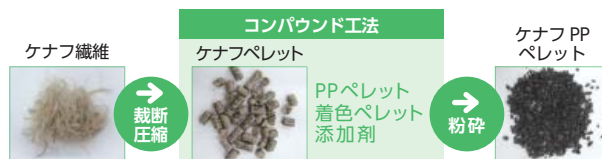
## トピックス 02 環境技術 植物材料ケナフを活用した エンジン関連部品を初めて開発

ケナフを活用した内装部品の開発に取り組んでいる中で、植物材料を活用したエンジン関連部品(エアクリーナーケース)を初めて製品化しました。(株)デンソーの商標にて、1月よりトヨタ自動車(株)から発売されているクラウンコンフォートに採用されました。射出成形部品の材料に必要な流動性を確保し、ケナフ40%という高い配合率ながらも、高い製品品質を確保したコンパウンド工法を確立し、従来比で10%の軽量化と二酸化炭素排出量の20%削減を実現しました。



トヨタ クラウンコンフォートに採用されたエアクリーナーケース

### ●ケナフを使用した射出成形材料の混合工程



### PICK UP

#### 2012年愛知環境賞「銅賞」を受賞

愛知環境賞は、資源循環や環境負荷の低減を目的に、先駆的で効果的に取り組む企業に愛知県から贈られるものです。当社はケナフの種子栽培から製品化までを事業化し、環境に配慮した自動車部品の開発と普及を進めてきたことが評価されました。



受賞の様子

## トピックス 03 技術開発 トヨタ86、スバルBRZのシート、 吸気系部品を開発



トヨタ 86のシート

トヨタ自動車(株)と富士重工業(株)の共同開発である小型FRスポーツ車のシートと吸気系部品を開発し、2012年4月発売のトヨタ86、スバルBRZに搭載されました。シートは、「新時代のスポーツカー」「誰もが操る楽しさを体感できるクルマ」として造り込まれたこのクルマに、ふさわしいものに仕上がりました。スポーツ走行による前後左右のG(重力加速度)にも、身体の軸がぶれず、かつ車両の挙動をしっかり感じ取るために、身体を深く面で支えるシートバックとクッション断面を追求。加えて、ペダル操作がしやすいシート前端部の形状や、シフト操作性に考慮し肘部が当たりやすい形状を実現しました。吸気系部品は、スポーツカーの魅力の一つである心地よいエンジン音創出に貢献しました。



トヨタ 86



吸気系部品

## トピックス 04 技術開発 上海、東京で モーターショーに出展



東京モーターショー当社ブース

トヨタ紡織は2011年4月に上海国際モーターショーへ初めて出展し、中国で生産・販売しているシートやドアトリム、フィルターなどをフルラインナップで展示。拡大する中国市場でのさらなる知名度向上を図りました。また、12月には東京モーターショーに出展しました。エキサイティングなドライブを楽しめる、新しい移動空間モデルの提案や、自動車レース専用シート、トヨタ86シートを展示したほか、植物由来原料を活用した自動車部品などを紹介しました。両モーターショーとも、大変多くの方にご来場いただき、当社の技術力をPRする良い機会となりました。



上海国際モーターショー当社ブース